



## よくある質問

質問：製品の品質に問題があると言われた場合にはどう対応しますか？

回答：アボット製品を使用中にユーザーにとって好ましくない結果が出たことを知った場合、これをアボット内の適切な個人またはグループに報告する必要があります。

あらゆる製品の有害事象については、部門の方針で定められた時間内に報告する必要があります。これは製品と「事象」との間に因果関係があるかどうか確信がない場合にも該当します。

質問：製品の販促という点では、アボットの方針・手順はどのようなことを要求していますか？

回答：製品の販促に関する重要な、普遍的原則の一つに、関連の規制当局団体により、問題となっている場所または用途に関して承認または許可が下りていない製品を販促または事前販売することはできないというのがあります。承認されたラベリングの範囲を超えたアボット製品の使用（適応外使用とも呼ばれる）について医療従事者から質問をされた場合、そのような照会は所属部門のかかる照会を担当する指定部署に回す必要があります。通常こうした部署はメディカル・アフェア部門内にあります。



## よくある質問（続き）

---

質問：なぜ懸念を報告する必要があるのですか？

---

回答：私たち全員が、当社の価値観を日々実践する責任を担っています。そうした責任には、わからないときに質問し、事業活動に関する懸念を報告して、率直な対話を続けることも含まれます。

不遵守に関する懸念の提起を行うことで、事業のすべての面において倫理的に行動する取り組みが継続され、コンプライアンスの企業文化が育まれます。皆さんの行動が、重要な影響をもたらす可能性があります。

---

質問：報復を受けた場合にはどうしますか？

---

回答：当社は懸念を提起した者に対する報復を厳重に禁じています。違反の事実が正しいと判明したかどうかにかかわらず、真摯に報告した告発によって制裁を受けることはありません。何らかの報復に遇ったと思う場合は、会社が調査できるように報告してください。





## よくある質問（続き）

質問：私は財務部に勤務しています。私の学業成績との関係で、私は常に学会との接触がありますが、大学側は財務諸表の分析と評価に関するクラスで講義をしてくれないかと持ちかけてきました。マネージャーと話し合った結果、この職はアボットの部門とはまったく独立したものであること、仕事のスケジュールもアボットの仕事に支障を来すことはないこと、アボットからの機密情報の開示も必要とされないということで合意しました。これは利益相反でしょうか？

回答：外部での雇用は利益相反になることがあるため、利益相反の可能性を開示し、マネージャーに相談したことは正しいことです。マネージャーと相談した後に、共に状況を評価し、新しい仕事はアボットの職務遂行には影響しないと判断したのであれば、この状況は利益相反とはみなされません。

質問：休暇中に仕事用のコンピューターを使ってオンラインショッピングをすることはできますか？

回答：アボットの方針では、アボットが所有するコンピューターの従業員による個人的使用は、それが付随的なもので、職務に抵触しない場合に限り許可されます。詳しくは次を参照してください。電子メディアの利用に関するアボットの方針。



## よくある質問（続き）

質問：誤って、社外のメール受取人に患者の名前やEメールアドレスのリストを送ってしまった場合にはどうしますか？

回答：患者の名前やその他の患者情報は当社が保護しなくてはならないセンシティブ情報とみなされています。かかる情報が何らかの形で危険にさらされた場合には、内部プロセスに従い、関係する内部の利害関係者にその出来事を知らせます。アボットのグローバルサービスデスクに連絡し、この出来事を報告します。

質問：アボットについての最新ニュースについて電話またはオンラインで尋ねられた場合どうしたらよいでしょうか？ 電話をしてきた人は、とても専門的な感じがし、現在の業界の動きについて医療産業全体の正式な調査を実施していると言っていました。この調査に参加してもよろしいのでしょうか？

回答：アボットの事業について非公開の情報を提供することには問題があります。アボットにこの手の情報を求めて接触してくる人は、あちこちの異なる情報源から情報を集めてそれを一つにし、会社内部で何が起きているかを探ろうとする場合があります。事業に関する結果またはその他の情報についてのアボットによる公表準備が整うまでは、自分の業務に関する情報は機密にしておくべきです。自分の業務に関する情報について、機密とみなされるものと、そうでないものとをよくわきまえておく必要があります。質問がある場合には、マネージャー、OECまたは法務部までお問い合わせください。報道陣の質問は広報部に回してください。



## よくある質問（続き）

質問：例えば、査証の申請をしたり、通関の「優先手続き」を依頼する場合など、より迅速にサービスを受けるための合法的な支払いと、賄賂との間にはどのような違いがありますか？

回答：書類の分量や、すべての申請者が常に同じオプションを利用できるかどうかなどにおいて、違いがあります。合法的な「優先手続き」のオプションにおいては、通常一定の料金が公表されており、申請フォームや料金発行事業体の領収書などの、明確に定められた標準の書類が使用されます。アボットの方針および手順では、上記のような合法の「優先手続き」のオプションとは異なる「便宜を受けるための支払い」は禁止されています。より迅速なサービスを得るための支払いが許可されているか、不確かな場合は、マネージャー、OEC、または法務部まで問い合わせてください。

質問：国民の祝日または宗教的休日中に、医療従事者に文化的な儀礼を供与することはできますか？

回答：国民の祝日または宗教的休日に関連した文化的な儀礼は、多くの場所で供与することができます。ただし、現地の手順で許可されており、かつ金銭的な上限を超えないことが条件となります。現地のOEC手順を確認し、(もしあれば) どのような品目なら提供できるかを決めます。



## よくある質問（続き）

質問：祝日中にサプライヤーから贈答品を受け取りました。受け取ることができるかどうかよく分かりません。どうしたらよいでしょうか？

回答：贈答品の性質、価値、また当該国の文化にもよります。受け取ろうとしている贈答品の価値がささやかなものでない場合、受け取るべきではなく、サプライヤーに当社の方針は従業員が高額の贈答品を受け取ることが許可していないことを説明し、返却します。一方、贈答品の金額がささやかなもので、当該国の文化からして妥当であるとみなされる場合、受け取ることができます。贈答品の性質からして可能な場合、一番良い方法は部署の従業員とそれを分かち合うことです。いずれの場合も、透明性が、このような状況においては鍵を握ります。このためマネージャーにこのことを知らせ、さらに質問がある場合、アボット購買部に問い合わせてください。

質問：医療従事者をビジネスで訪れている際、営業担当者は医療従事者から昼食をはさみながらビジネスの話ができないかと尋ねられました。本社の行動規範では、これは許可されることでしょうか？

回答：ほとんどの国において、医療従事者とビジネスの話を交えた食事をするのは許容されています。要件と金銭的な上限について現地のOECの手順を確認してください。



## よくある質問（続き）

質問：財務部に報告されていない「非公式な」別口座を誰かが作成していることに気付いた場合、どうすればよいでしょうか？

回答：この件が審査されるよう、OEC、法務部、または財務部に報告してください。

質問：世界および私の国には非常に多くの法律があります。どの法律に従う必要があるのか、法律では何が定められているのかどうやって知ることができるのですか？

回答：アボットの方針および手順は定期的に更新され、法の改訂を正確に反映するようになっています。すべての関連方針に必ず従い、質問がある場合はOECまたは法務部に問い合わせるようにしてください。

